

## 枝豆実績検討会・栽培講習会

1月12日(火)、枝豆の実績検討会と栽培講習会が雄和支店で行われ、生産者ら約50名が販売実績や次年度に向けた対策を確認しました。今年度は7月中旬から9月下旬までに136.1トンが出荷され、販売額は940.4万円に上りました。

今年度の栽培面積は72.6ヘクタールで、平均単価は前年度比117.1%の1キロ当たり691円となりました。秋田地区営農センターの担当者は「夏の天候不順が中晩生品種の生育に影響したが、生産者の適期作業のおかげで高い品質の枝豆を出荷することができた。品質の高さをアピールしながら、今後も販売に力を入れていきたい」と話しました。

## 役員選任へ代表者協議会

令和3年に当JAの役員の任期が満了することに伴い、役員を選任が行われます。

1月18日(月)、総代協議会と支部長および営農組合長の代表者協議会が秋田県農協ビルと男鹿支店で行われ、役員が決定するまでのスケジュールや役員推薦委員の選出方法などを確認しました。参加者からは委嘱状の交付方法や会議を開く時期などについて話題が上がり、円滑で公正な役員選任のため意見を交わしました。

新しい役員は、各地域での合同会議や地区役員推薦委員会、5月に予定している役員推薦会議などを経て、6月下旬に開催予定の第4回通常総代会で決定されます。

今年度の販売実績や今後の対策を確かめました



役員選任の日程や留意事項などを確認しました



## NEWS & TOPICS

## 梨防除講習会

1月20日(水)、果樹部会男鹿支部の防除講習会が大崎ことぶき荘と中石果樹会館で開催され、生産者が今後の管理方法について学びました。

男鹿地区営農センターの担当者が令和2年度の栽培経過や病害虫の発生状況を報告し、県果樹試験場天王分場の担当者は新規に採用された薬剤や今後の農作業における注意点を説明しました。

生産者は昨年に使用した薬剤や散布日を確認しながら、令和3年度の防除スケジュールを話し合いました。

バッテリー搭載型の剪定鋏や腕を上げた状態の作業を補助するアシストスーツも話題になり、実際に触って使い心地を試す姿が見られました。

剪定鋏の使い心地を試す生産者



## 直売所出荷向けの野菜を学ぶ

1月21日(木)、直売所向けの野菜の栽培講習会が追分生活センターと雄和支店で開催されました。(株)高井南茄園の金野豊秋常務を講師に迎え、春からの畑作業の開始に備えて、品種の特性や栽培する際の注意点を学びました。

金野常務は「トゲや種が少なくして手頃なサイズの品種が、家庭で使いやすいため直売所でも人気が出やすい」と話し、ナスやトウモロコシ、スイカやダイコンなどの多彩な品種を、実際に栽培した感想やおすすめのための資材とともに紹介しました。

生産者からは肥料を散布するタイミングや連作、貯蔵方法などについて質問が上がりました。

多彩な野菜の品種特性を学びました

